

経済・金融 フラッシュ

中国経済：来週の注目ポイント ～「水増し」疑惑が浮上した貿易統計の4月分を発表

経済調査部門 上席主任研究員 三尾 幸吉郎

TEL:03-3512-1834 E-mail: mio@nli-research.co.jp

- 中国では、来週 8 日に 4 月の貿易統計が発表される。欧米先進国の景気回復は依然として緩やかで、先行指標となる製造業 PMI（新規輸出受注）も好不調の境界となる 50 を挟んで一進一退だが、輸出に先行して動く輸入には改善の兆しもあることから、4 月の輸出は 1-3 月累計の前年同期比 18.4% は下回るものの、3 月の前年同月比 10.0% を若干上回り、前年同月比 13.2% と予想している。
- また、9 日には 4 月の消費者物価が発表される。4 月は鳥インフルエンザの影響で鶏肉が値下がりしているのに加え、25 日にはガソリン・ディーゼル油も値下げされた。但し、ハクサイが値上がりするなど多くの生鮮野菜が上昇していることから、4 月の消費者物価は前年同月比 2.3% と予想する。

○来週発表予定の経済指標

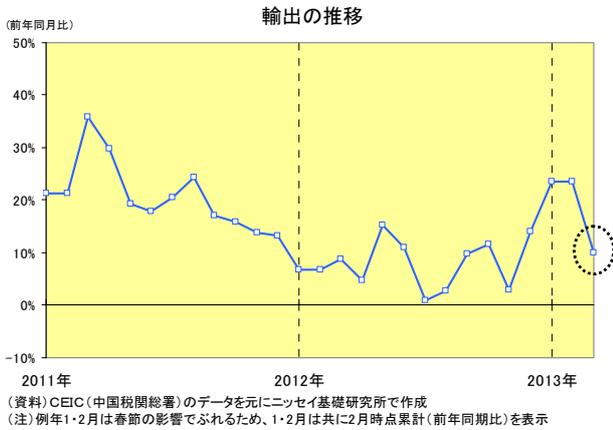
発表 予定日	経済指標	当研究所の予測値		前回		
			対象期	(改定後)	対象期	
5月8日	貿易収支	(百万ドル)	27,155	2013年4月	-823	2013年3月
	輸出総額	(前年同期比)	13.2%	2013年4月	10.0%	2013年3月
	輸入総額	(前年同期比)	9.0%	2013年4月	14.1%	2013年3月
5月9日	消費者物価指数	(前年同期比)	2.3%	2013年4月	2.1%	2013年3月

①貿易統計〔発表予定日：5月8日(水)〕

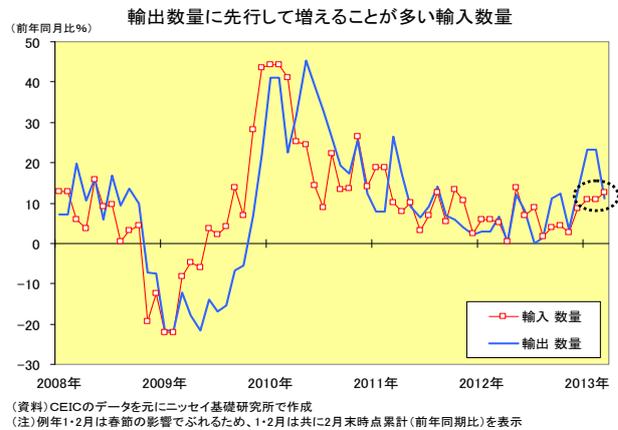
まず、8日(水)には、中国税関総署が4月の貿易統計を発表する予定である。前回発表された3月の輸出総額は前年同月比10.0%増と、1-2月期累計の前年同期比23.6%増を大きく下回った。欧米先進国の景気回復は依然として緩やかで、先行指標となる製造業PMI(新規輸出受注)も好不調の境界となる50を挟んで一進一退を続けていることを勘案すれば、1-3月累計の前年同期比18.4%増はやや出来過ぎの面があり、4月は反動減となる可能性がある(図表-1)。但し、輸出に先行して増加することの多い輸入が3月に伸びを高めるなど改善の兆しもでてきたことから(図表-2)、輸出が大きく落ち込むとも考え難く、4月の輸出は前年同月比13.2%と予想している。

また、1-3月期の輸出が高い伸びだったのは、厳しい資本規制の下で、香港から中国本土へ投機的マネーを持ち込むため、輸出を装った貿易決済が紛れ込んだことが原因とする所謂「水増し」疑惑が浮上している。中国国家外貨管理局は既に実態調査に乗り出しており、その結果や修正方法次第では、当面の貿易統計は改定など波乱含みなことには留意しておく必要があるだろう。

(図表-1)



(図表-2)



②消費者物価指数 [発表予定日:5月9日(木)]

また、9日(木)には、中国国家统计局が4月の消費者物価を発表する予定である。3月の消費者物価は、前年同月比2.1%と2月の同3.2%を1.1ポイント下回った(図表-3)。3月に消費者物価が低下したのは、2月に前年同月比10.0%の上昇となった生鮮野菜が、3月には同-10.3%と一気に下落に転じたことが主因である(図表-4)。これは春節(旧正月)の影響といえるが、春節の影響が小さいサービス価格の動きを見ると、2月も3月も比較的高い上昇率を続けている(図表-4)。

今回発表の4月は、鳥インフルエンザの影響で鶏肉は前月末より下落しているものの、ハクサイが前月末比50%超上昇するなど生鮮野菜は上昇した物が多く(20日現在)、食品は3月より上昇率が高まりそうだ。また、4月25日にガソリン・ディーゼル油が値下げされたことを勘案すると、4月の消費者物価は3月より上昇率を若干高めて、前年同月比2.3%程度と予想している。

(図表-3)



(図表-4)

消費者物価(分類別、前年同月比) (単位:%)

	消費者物価	品目別					消費品 (モノ)	サービス
		食品	うち 生鮮野菜	衣類	交通通信	居住		
2012年1月	4.5	10.5	23.0	3.3	0.2	1.9	5.5	2.2
2012年2月	3.2	6.2	6.5	3.8	0.1	2.1	3.9	1.5
2012年3月	3.6	7.5	20.5	3.8	0.3	2.0	4.4	1.5
2012年4月	3.4	7.0	27.8	3.6	0.3	1.8	4.1	1.7
2012年5月	3.0	6.4	31.2	3.1	▲0.1	1.6	3.6	1.7
2012年6月	2.2	3.8	12.1	3.3	▲0.4	1.6	2.3	1.9
2012年7月	1.8	2.4	8.0	3.3	▲0.9	2.1	1.7	2.0
2012年8月	2.0	3.4	23.8	3.1	▲0.8	2.2	2.1	2.0
2012年9月	1.9	2.5	11.1	3.4	▲0.2	2.3	1.8	2.3
2012年10月	1.7	1.8	1.1	2.7	0.1	2.5	1.5	2.3
2012年11月	2.0	3.0	11.3	2.3	0.0	2.6	1.9	2.3
2012年12月	2.5	4.2	14.8	1.9	0.0	3.0	2.5	2.5
2013年1月	2.0	2.9	2.6	2.5	▲0.3	2.9	2.0	2.2
2013年2月	3.2	6.0	10.0	2.1	0.2	2.8	3.3	3.1
2013年3月	2.1	2.7	-10.3	2.3	▲0.3	2.9	1.7	3.1

(資料) CEIC

(お願い) 本誌記載のデータは各種の情報源から入手・加工したものであり、その正確性と安全性を保証するものではありません。また、本誌は情報提供が目的であり、記載の意見や予測は、いかなる契約の締結や解約を勧誘するものではありません。